

募 集 要 項

氏 名：吉岡 一郎	研究室：第 4 研究室棟 4K109
専攻分野：監査論、財務会計	
演習テーマ：財務会計	E-mail：yoshioka@cc.kyoto-su.ac.jp

演習内容・主なテキスト

この演習（以下ゼミ）では、財務会計に関する研究を行います。企業を取り巻く利害関係者の意思決定に有用な会計情報を提供する財務会計の領域は多岐に渡ります。非常に広い領域を研究対象としますが、財務会計領域と関連を有する限りゼミ生諸君の希望を尊重したいと考えています。

演習 1、2 では簿記および財務会計に関するテキスト（テキストは相談の上決定します）、を使用して、会計に関する知識の共有化を図りたいと考えていますが、ゼミ生の希望は尊重します。その後は各年度のゼミ生の希望にできるだけ添うように運営するため、毎年異なります。よって、ここに具体的なテキストを提示することはできません。

<演習 1 >

相談の上決定したテキストを用いて、ゼミ生の商業簿記の学習レベルに応じて商業簿記の知識を習得し、日商簿記検定の 3 級以上を受験してもらいます。

<演習 2 >

演習 1 に引き続き、相談の上決定したテキストを用いて財務会計の知識を習得します。その後は各年度の希望にできるだけ添うように運営するため、毎年異なります。参考までに R 6 年度は、「財務会計講義」（中央経済社）を用いた学習を行っています。

<演習 3 >

演習 2 に引き続き、『財務報告論』を用いて財務会計の知識を習得します。その後は各年度の希望にできるだけ添うように運営するため、毎年異なります。参考までに R 6 年度は、財務諸表分析をやりたいとの要望でしたので、各人が毎回パソコンを持参のうえ、様々な手法を学んでいます。

<演習 4 >

各年度の希望にできるだけ添うように運営するため、毎年異なります。参考までに R 6 年度は、3 グループに分かれてそれぞれ異なった組織体に対して財務諸表分析の手法を用いて分析、報告を行っています。

<演習 5・6 >

演習 1～4 での経験を元にゼミ生各自が選択したテーマについて、それぞれが研究、発表し、最終的な卒業論文として仕上げます。

教員からの要望

ゼミは、まず第一に専門的な学問追及の場ですから、絶対に無断欠席をしてはなりません。また、ゼミは生涯の友人を得る場でもあります。合宿、各種レクリエーション、懇親会のような学問関連以外のゼミ行事にも積極的に参加する学生を希望します。

また、吉岡ゼミにおいては学年が上がるごとに商業簿記に関する知識は必須となります。今回の演習 1 の応募においては、すでに 3 級以上に合格しているか、もしくは R 7 年中に 3 級以上を受験する意思のある学生を希望します。

履修希望科目

会計に関連する科目を履修してください。

- ・商業簿記 I～IV、工業簿記
- ・会計学概論、財務会計基礎・応用
- ・原価計算、管理会計
- ・所得税会計、法人税会計 etc.

教員の自己紹介

奈良県出身の 59 歳です。大学卒業後 6 年間民間企業に勤務後、退職して大学院に進学し、教員の道を進むこととなりました。教師生活 29 年、本学在籍 19 年目です。趣味はスポーツ観戦です。学生時代はソフトテニスばかりやっていた、どちらかというと脳筋系に分類されます。

ゼミ生からの紹介

(以前、ゼミ生に書いてもらった文章を転載しています)

吉岡先生は普段のゼミや授業ではとても真面目に教えられます。私たちは演習 1 では最初、会計の基礎知識を身につけるために商業簿記を勉強しました。おかげで簿記の資格を取れたゼミの同期もいます。でも、それ以外の時間やゼミの行事のときは、とても気さくで明るい先生です。

先生はゼミの行事には積極的に参加して下さいますし、とてもビールが好きなので、コンパの時には明るく酔っ払っています。勉強はもちろん、さらにいい友達を作りたいと考えている人は、どうぞ吉岡ゼミに来てください。

- ・自己 PR
- ・その他 ※独自の課題等

< 確認事項 >

※電子申請データ取得時に、入学年度、学生証番号、氏名（よみがな）、学部、学科、年次、セメスターは、データに予め表示されます。